

【特集】令和元年度北海道予算(主な重点政策)

3つの「挑戦」を基本として政策を展開していきます。

道民の皆さんと力を合わせ、新たな時代に躍動する北海道の実現を。

北海道への想いをつなげる豊かな地域づくりへの挑戦 (主な取り組み)

一人ひとりの希望がかなう地域の創生

- 〈政策のポイント〉
- 本道に想いを寄せる方々が集うネットワーク「ほっかいどう応援団会議」を結成し、民間の力やノウハウを集積します。
 - 市町村の進める地域子ども子育て支援事業などを支援します。
 - 都内で移住等のワストップ窓口を運営するほか、首都圏の若年者対象の取り組みを実施します。
 - 地域と継続的につながる「関係人口」を増やすため、首都圏企業を対象にワーケーション※の取り組みを行います。



※ワーケーション/ワークとバケーションを組み合わせた造語で、遠隔地で休暇を兼ねて仕事もする働き方のこと。

- 北方領土返還要求運動の後継者を育成するため、道内中高生の体験学習などを実施します。

地域を支える交通体系の構築

- 〈政策のポイント〉
- 維持困難な鉄道路線の利用促進を目的とした設備投資に対する支援のほか、道民をはじめ道外・海外観光客の利用拡大などの取り組みを展開します。

- 未就航区間の新規路線誘致に向け、航空実態などを把握するトライアル運転を行います。



健やかに暮らせる医療・福祉の充実

- 〈政策のポイント〉
- 聴覚障がいのある方々の社会参加を促すため、聴覚障がい者情報提供施設の運営を支援します。
 - 母子(父子)家庭の自立支援、軽費老人ホーム運営費の助成のほか、認知症の高齢者が安心して暮らすため子育て支援センターの整備を進めます。



安全・安心で強靱な北海道づくり

- 〈政策のポイント〉
- 胆振東部地震の被災3町の地域経済を活性化するための支援を行うほか、地震により崩壊した林地の森林整備について検討を行います。
 - 災害時の総合防災体制を強化し、災害福祉支援ネットワークの構築に取り組みます。
 - 飲酒運転の根絶に関する取り組みを強化します。



厚真町の山林被害(2018年9月撮影)

多様性と可能性を活かした確かな未来づくりへの挑戦 (主な取り組み)

地域と産業をけん引する人づくり

- 〈政策のポイント〉
- 外国人材の生活・就労に関するワストップセンターの設置など、受入環境を整備します。
 - 首都圏の大学などと連携して若年者のU・Iターン就職の促進のほか、意欲ある農業人材を確保するため就農フェアなどを開催します。
 - 若年者や女性などのものづくり産業への就業促進を進めるほか、高齢者や障がい者が多様で柔軟な働き方ができる環境を整備します。



将来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実

- 〈政策のポイント〉
- ふるさと納税を活用し、道立学校における特色ある教育活動の充実を図ります。
 - 姉妹友好提携地域などとの間で青少年国際交流を拡大します。

彩り豊かな文化・芸術・スポーツの振興

- 〈政策のポイント〉
- アイヌ新法の制定を踏まえ、新たな道のアイヌ施策推進方策の検討などを行います。
 - スポーツ競技力強化に向け、ジュニア世代の強化合宿を支援します。
 - 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指す動きに4道県で取り組みます。



地域と未来を支える活力ある産業づくりへの挑戦 (主な取り組み)

食と観光の魅力を最大化する北海道ブランドの充実

- 〈政策のポイント〉
- 道産食品輸出額1,500億円の実現に向け、魅力ある食の世界展開を進めます。
 - 外国人観光客500万人の実現に向け、さらなる高みを目指した観光戦略を推進します。
 - 海外からの投資を促進するため、投資家の招へいなどを実施します。



優位性や独自性を活かした経済・産業の活性化

- 〈政策のポイント〉
- 食品製造業などにおける先端技術の導入に向けた技術開発や製品化を推進します。
 - 非常時にも対応可能な地域のエネルギー地産地消の取り組みなどを進めます。



魅力ある力強い農林水産業の振興

- 〈政策のポイント〉
- 農作業の省力化・生産性の向上を目指し、ICT(情報通信技術)を活用したスマート農業を推進します。
 - さけ・ます増殖事業の安定化など、持続的発展に向けた漁業の取り組みを推進します。
 - 森林所有者に対し、森林経営計画を提案・実践する森林施業プランナーの育成を図ります。



みんなの赤れんが

お問い合わせは
▶マークの窓口、またはウェブサイトへ。

「北方領土の日」のポスター、作文を募集

2月7日は「北方領土の日」です。この日を広く知ってもらい、北方領土についての関心を高めるためのポスターデザインを募集しています。



〈一般の部〉

| | |
|------|-----------------------------------|
| 応募資格 | 高校生以上(プロ・アマ不問) |
| サイズ | A3判(縦) |
| 締切 | 10月18日(金) |
| 送付先 | 〒060-8588(住所不要) 北海道総務部北方領土対策本部 |

道内の小学5・6年生、中学生を対象にした「こどもの部」もあります。また、「北方領土中学生作文コンテスト」では、道内の中学生を対象に、北方領土に関する作文を募集しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

北方領土対策本部 [検索](#)
▶道庁北方領土対策本部 ☎(011)204-5069

2019ホッカイドウ競馬

日高町の門別競馬場では、11月7日(木)までの毎週火・水・木曜日を基本にナイトレースを開催しています。季節ごとのイベント「ケイバまつり」を開催予定のほか、名物「ねっこジンギスカン」などの地元グルメも充実。ご家族でお楽しみいただけます。JR札幌駅から無料送迎バス(予約制)も運行しています。



また、馬券は道内各地の場外発売所「Aiba」やインターネットなどで購入できます。

働き方改革関連法が4月1日から順次施行されています

「働き方改革」とは、働く人たちが、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるようにするための改革です。

- 【働き方改革関連法3つのポイント】
- 時間外労働の上限規制の導入(中小企業は2020年4月1日～)
 - 年次有給休暇の確実な取得
 - 正社員と非正規社員の間の不合理な待遇差の禁止(大企業は2020年4月1日～、中小企業は2021年4月1日～)

その他の内容や詳細は、「働き方改革」特設サイトをご覧ください。
働き方改革 厚労省 [検索](#)
▶道庁働き方改革推進室 ☎(011)204-5354

旧優生保護法に関する一時金支給について

4月24日に「旧優生保護法一時金支給法」が成立し、公布・施行されました。旧優生保護法のもとで優生手術を受けた方は、一時金320万円の支給を受けることができます。一時金の請求を希望する方は、旧優生保護法に関する相談支援センターにてご案内しますので、以下にご連絡ください。

〈相談支援センター〉

| | |
|------|--|
| 電話 | ☎0120-031-711 |
| 受付時間 | 8時45分～17時30分(土日祝日・年末年始除く) |
| FAX | (011)232-4240 |
| メール | hofuku.kodomo1@pref.hokkaido.lg.jp |
| 郵送 | 〒060-8588(住所不要) 北海道保健福祉部 子ども子育て支援課相談室内 |

▶道庁子ども子育て支援課 ☎(011)206-6343

2019年度自衛官採用情報

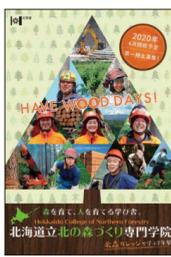
18歳から32歳の方、必見です！自衛隊は防衛、災害派遣、国際協力などのさまざまな場面で活躍しています。多彩な職種・職域の中から自分が輝ける仕事を見つけてませんか。採用試験、会場などの詳細は各地方協力本部にお問い合わせください。

- お問い合わせ
札幌地方協力本部 ☎(011)631-5472
函館地方協力本部 ☎(0138)53-6241
旭川地方協力本部 ☎(0166)51-6055
帯広地方協力本部 ☎(0155)23-5882

▶道庁市町村課 ☎(011)204-5152

道立北の森づくり専門学院の第1期生を募集します

北海道の次代を担う人材の育成を目指す「北海道立北の森づくり専門学院」(略称:北森カレッジ)の2020年4月開校に向けて、北海道の森林づくりへの意欲にあふれた第1期生を募集します。



当学院では、道内全域をフィールドとしたインターンシップや多彩な実践・実習を通して、経験の有無を問わず、林業・木材産業に関する幅広い知識と技術を習得できます。出願資格や試験会場の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

北森カレッジ [検索](#)

| | | | |
|------|--|----|-----|
| 修学期間 | 2年間 | 定員 | 40人 |
| 学号 | 専門士(林業・木材産業課程)※ | | |
| 出願期間 | 10月1日(火)～15日(火)[推薦] 10月15日(火)～28日(月)[一般] | | |
| 試験日程 | 10月25日(金)[推薦][札幌・東京] 11月15日(金)[一般][帯広・北見・東京] 11月18日(月)[一般][札幌・函館・旭川] | | |
| 試験科目 | 面接[推薦] 小論文及び面接[一般] | | |

※卒業生には林業・木材産業の専門士の称号が与えられる予定です。

▶道庁林業木材課 ☎(011)206-6579

気候変動の影響への「適応」について考えてみましょう!

ここ数年、異常気象が多く発生しており、今後、私たちの暮らしにさらに影響が出てくるかもしれません。その影響に備えるための「適応」について、身近なところから取り組んでみましょう。

- 〈暮らしに身近な「適応策」〉
1. 自然災害に備えましょう
集中豪雨が増えたり、台風が大型化したりするかもしれません。土砂災害などの自然災害に備え、避難場所や避難経路を調べておきましょう。
 2. 熱中症を予防しましょう
気温が上がり、熱中症になる可能性が高まります。こまめな水分補給、外出時の帽子着用などを行うようにしましょう。
 3. 虫刺されに気をつけましょう
気温が上がると、デング熱という感染症を運ぶ蚊が北海道に生息するようになるかもしれません。虫よけスプレーなどで虫刺されに注意しましょう。
 4. 水を大切に使いましょう
雨の降る日が少なくなるかもしれません。普段から水を大切に使いましょう。

北海道 気候変動適応 [検索](#)
▶道庁気候変動対策課 ☎(011)204-5190

イベントニュース
9月に開催される世界的なイベントを紹介します。

「世界津波の日」2019 高校生サミットin北海道

- 開催日/9月10日(火)・11日(水)
- 会場/北海道立総合体育センター「北海きたえーる」

11月5日の「世界津波の日」は、日本の提唱により、国連において定められました。それを機に、「世界津波の日」高校生サミットは、世界各国の高校生が津波の脅威と対策を学ぶ場として、2016年から毎年日本各地で開催されています。ことしの舞台は、「北の大地」北海道。日本を含む44カ国約400人の高校生が参加し、国土強靱化を担う将来のリーダーの育成と、世界各国の絆を一層強めることを目的に開催されます。詳しくは右記ウェブサイトをご覧ください。

「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」札幌でも、いよいよキックオフ!!

●開催期間/9月20日(金)～11月2日(土)
●会場/札幌ドームを含む全国12会場
※札幌ドーム開催は9月21日(土)・22日(日)
世界三大スポーツイベントでもあるラグビーワールドカップが、アジアで初めて日本で開催されます。参加するのは、前大会の成績や予選で出場権を獲得した20チーム。世界の強豪チームが、東京での開幕戦を皮切りに、横浜での決勝戦を目指し、熱戦を繰り広げます。札幌ドームで開催されるのは、9月21日(土)のオーストラリア対フィジー戦と22日(日)のイングランド対トンガ戦。この観戦チャンスを逃さず、世界中から訪れるラグビーファンをおもてなしの心で迎えます。詳しくは右記ウェブサイト [ラグビーワールドカップ日本大会](#) [検索](#)
▶道庁スポーツ振興課 ☎(011)204-5254

復旧・復興レポート
昨年9月に発生した胆振東部地震の被災地の復旧・復興に向けた主な取り組みを紹介します。

●豊穡を願い「あつま田舎まつり」を開催!
厚真町では、クラウドファンディングなどを通じて多くの皆さんから支援をいただき、町内最大のイベント「あつま田舎まつり」(6/15、16)を開催。家族連れなど多くの人で賑わいました。

▶道庁胆振東部地震災害復興支援室 ☎(011)204-5795

防災ガイド
まさかには必ずやってくる 警戒レベル4で全員避難!!

大雨からの逃げ遅れゼロへ!
避難情報の伝え方が変わりました

この夏より、[警戒レベル]を用いた避難情報が発令されています。市町村から[警戒レベル3、4]が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。

警戒レベル 4
警戒レベル 3
警戒レベル 2
警戒レベル 1

避難情報は、市町村が発令します。避難に時間や費用を要する人は避難し、安全な場所へ避難してください。

心構えを高める (気象庁が発表)
避難行動の確認 (気象庁が発表)
避難に時間を要する人は避難 (市町村が発令)
安全な場所へ避難 (市町村が発令)

警戒レベル5 (市町村が発令) は既に災害が発生している状況です。
地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。
▶道庁危機対策課 ☎(011)204-5008